

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を広げて流せる水の量を増やします

地元の声
 ・令和元年東日本台風の際に川が氾濫したため、早く整備してほしい。(地元住民)



- 事業の概要**
- 事業箇所: 前橋市富士見町皆沢
 - 事業内容: 河道拡幅 延長280m
 - 事業期間: 令和3年度～

- 現況流下能力: 約4m³/s
- 計画流量 : 9m³/s

事業前

◆ 川の断面が小さく、洪水時に氾濫するおそれがあります。

事業前の状況 (令和元年東日本台風時)

事業後

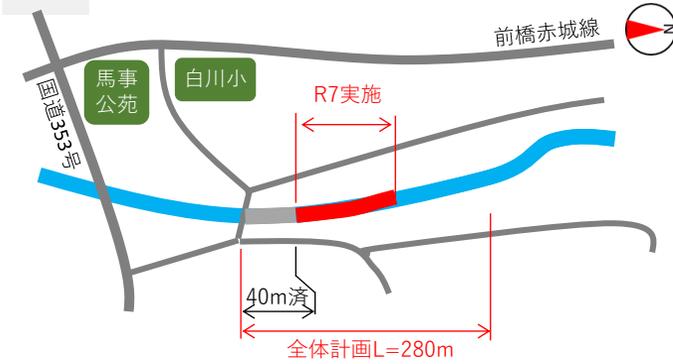
◆ 川幅を広げることで流せる水の量を増やし、川の氾濫による被害のリスクを軽減させます。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
令和元年東日本台風と同規模の降雨	被害あり

実施後(目標)
被害なし

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか
 令和7年度は、護岸工事を進めます。

